

ブヒ

ブヒ
Vol.
02
OAK MOOK 143

特集「出会い」

愛ブヒとの運命について、あるいは
人生そのものについて

こんにちは!
うちのコ自慢
みんなの愛ブヒ
PREMIUM
勢揃い!



きみに巡りあえて
フレンチブルにくびったけ

We met lovely French Bulldog!

ブヒのトレーニング・メソッド フレンチブルは断然正しい! ●敏腕トレーナーが語る「ブヒしつけ」

疾患予備軍も必ずCheck! 骨・関節疾患への対応策 ●相川動物医療センターに訊く「予防と対策のすべて」

●椎間板ヘルニアを持った愛ブヒ「手術を終えて」 ●リラクゼーションでストレス退治「ホリスティックな思考」

もう悩むのはやめにしません? ブヒごはん「ほんとうの話」 ●手づくり食からスペシャル・ドッグフードまで

●「カワイイという目線では見ていません。その素晴らしい能力に惚れこんでいるんです」

私、昔から犬に興味が無かったんです。それが今この仕事についているんですからね、友達にも「信じられない」と言われます（笑）。

この世界に入ったのは主人の影響なんです。彼が中学時代に住んでいたフランスでは、街中どこにも犬がいて、犬が生活に溶け込んでいたそうです。もちろん、しつけが行き届いた犬ばかり。そこで彼は「日本でも犬のしつけをする！」と長年思っていたみたいで。

そんな主人に言いくるめられて、私はアメリカに送り込まれました（笑）。そこでマリノワ（シェパードの一種の米軍用犬）との運命的な出会いがあったんです。その能力にあつという間に惚れこんでしまいました！「犬ってスゴイ！」って日々感じ、その素晴らしさにどんどんハマっていったんです。そして「どんな犬でも能力があるのに、外見のカワイイで終わるのはもったいない！」と強く思ったんです。

ですから、今でも犬の見た目や仕草のかわいらしさにはあまり興味が無いんです。その素晴らしい能

ル は 断 然 正 し い !



力を人間の力で最大限引き出したい。これに尽きま
す！

●「ブヒのしつけを甘く見てはいけません（笑）。
正直、かなり大変です！」

よくトレーナーをつけたからって安心される方が
いるんですが、それは違います。しつけは、飼い
主さんがやるんです！ 時間も労力もかかりますけ
ど、ご自分から動かないと！

特にブヒに関しては、甘く見てはいけない（笑）。
私も数え切れないほどのブヒをトレーニングしまし
たけど、どの子も結構大変でしたから。そもそもブ
ヒは「人が大好き」って子が比較的少ないように思
います。あとは集中力が切れがちな子が多い印象で
すね。

それとブヒを甘やかしたり、ベタベタしたりしな
いほうがしつけには良いと思います。「人と犬との
間に境界線を引きながら共存する」「人間の生活を
乱されないようにする」という飼い主さんに育てら
れたブヒは、しつけの行き届いた良い子だという印
象があります。

だ か ら フ レ ン チ ブ

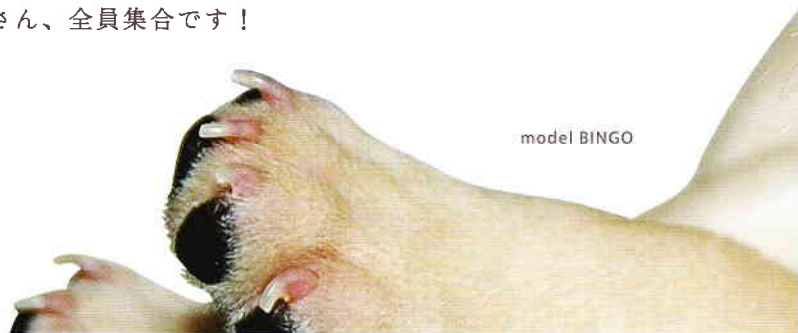
ブヒ経験の多いトレーナー、川野悌子さんに訊いてみよう

「ブヒトレーニング ・メソッド」

ドッグトレーナーと聞くと、「犬をいっぱい飼っていて、めちゃ
くちゃ犬好きなんだろうなあ」と想像しますよね？ だけど、川
野さんは「犬に興味が無かった」というではないか！ え～！
大丈夫？ 何が彼女を動かした!? それは犬の“素晴らしい能
力”だった！ アメリカでその“能力”に魅了され、身に着けた
川野スピリットは、「かわいい」だけでは得られないしつけの極
意の宝庫。しつけがうまくいかない飼い主さん、全員集合です！

インタビュー◎山崎永美子

model BINGO



●「ブヒを振り向かせようと追いかけてはダメ！
そこは人と同じかも（笑）」

ブヒってとにかくめげない性格だと思うんです。へこんでる子を見たことが無いくらい（笑）。逆に言うと、人間の影響が及びづらい。そこで、無理にでもこつちを向かせようとすると、ブヒもムキになる。追いかけてまわせばまわす分、振り向いてくれません。人と同じですよね（笑）。だから飼い主さんが「勝手にすれば」くらいのスタンスで構えることが大切。

それと、ブヒはトイレで平気で寝たりするくらい大らかな性格です（笑）。そういう点でも、「ブヒに神経質さを求めても無駄なんだ」と、大きな気持ちで見守ってあげてください。

●「しつけをすることは犬を知ること！ ボディランゲージを要チェック！」

しつけはお座りをさせるなどの技術ではなく、犬を知ることが大前提なんです。だから愛ブヒを良く観察することは、しつけをする上でとても大事なことです。

特にブヒの場合は顔にシワが多く、尻尾も短い

で意思表示が伝わりにくいんですよ。一般的に犬が怒るときは、目の下に隆起線が浮き出て、口がピクピクという表情をするのですが、ブヒの場合はそのサインを見落としがちです。それで突然ケンカが始まったりするから、もうビックリ！ でも本当は出してるんですよ、感情を。小さな尻尾が動いていたり、顔がかすかにピクピクしていたり。よく観察してみてください！

●「ほめて育てる。でも叱るときは、きちんと叱る」

「ほめるしつけ」という言葉が独り歩きしている気がします。「ほめるだけ」も否定しませんが、1人の飼い主として犬歯を持つ動物をただほめるだけで飼いきれるのか疑問に思いますね。私はどんなに優秀な犬でも100%は信用しません。残りの数%で、とんでもない事態がおこるかもしれないわけですから。だから、叱ることを知らないといけませんよね。

かといって叱ってばかりでは良い関係は築けません。だから私は「1叱ったら、9良いことを見つけあげましょう」と言っています。良い所を探してあげてください。それが「愛ブヒをよく知る」という



ことにもつながりますから！

●「効果的な叱り方とほめ方。それには的確な意思伝達とタイミングが欠かせません」

叱り方ですが、ブヒの場合はかなり強く言わないと伝わらない場合が多いと思います。ですがそれ以外はどんなやり方でも良いと思うんです。問題は「とても不快である」というのを伝えられるか。それとタイミングです。例えば人を噛んだとします。そこで「いけない」と言うのと、叩いたりするアクションのタイミングがズレると伝わりにくくなるんです。犬にとっては何が悪かったのかわからなくなるんですよ。

逆にほめ方にも同じことが言えます。「高い声で、楽しそうにほめる」が基本。でも、それにもタイミングがあるんですよ。「待て」ができたから、高い声で「ワーツ！ 良い子だね」ってほめると、せっかとおとなしくしてたのに、一気に犬は興奮してしまいます。特にブヒの場合はすぐ盛り上がるタイプですからね(笑)。信号待ちができたなら、静かに「よし」とほめてあげるなど、調節することが大切です。

●「かみ癖をなおすには興奮をおさえるのがポイント。基本コマンドを習得させて」

まずは甘噛みやじゃれ噛みをやめさせることが大切です。歯が当たったら無言で席を立つくらいの強い態度に出ているのです。不快であることを伝えましょう。

あと、ブヒによくあるのが、遊ぼうと寄ってきてタックルしたり、ジャンプしながら噛むこと。興奮の延長でやってしまうんです。だから、その興奮をおさえることが一番のポイント。それには「お座り」「待て」の基本コマンドをしっかりと教え込むことです。どんな誘惑があってもできるようにする。興奮する前に心拍数を下げて抑えることができます。

●「家ではいい子なのに、外だとやんちゃ。そんなブヒには外でも実践を」

犬は応用がきかない動物なんです。だから、環境が変わった場合には、飼い主さんがその環境で同じようにしつけてあげないとできるようにはならないのです。また外で1から教えてあげてください。今までと同じトレーニングをしても、家でできるようになった期間よりもずっと早くにできるようになる

はずですから！

●「多頭飼いブヒの注意点は、人間がダントツトツプの存在でいること！」

多頭飼いをしようとしている飼い主さんにいつも言うことは「2頭が仲良くなると期待しないでください」ということ。そうでないと、いざ相性が悪かったときに、仲良くさせようと強要する気持ちが起きますよね。犬は利己的なので「なんで仲良くしないといけないの？」と思うんです。無理に部屋で遊ばせても、犬にとっては迷惑な話。ケンカになって辛い思いをするなら、バリケンネルの中にいたほうがましと思っっているんですよ。実際、そのたびにケガをして病院に行く子もいるわけですよ。

だから飼い主さんが仲良くすることを強要してはいけません。「相性が良かったらラッキー」くらいの心構えでいたほうが良いでしょうね。

それと、犬世界でのランク付けや、先住犬と新しい犬との間の優先順位に悩む方も多いですよ。いろいろな考えがありますが、最近の「ダントツに力を持つのは人間で、犬は平等に扱う」という考え方が良いのと思っています。「トップの飼い主さ

んに対するそのときの従順さ」で優先順位を変えていくので良いのではないのでしょうか。

●「ブヒのしつけはトレーナー選びもひとつのキーワード！」

問題行動に対して、ブヒは改善のしかたがゆるやかな子が多いんです。だから悩んでいる飼い主さんも多いですよ。

私たちは犬の個性を客観的に見ながら、どんなトレーニングが合うのかを判断します。特にブヒの場合はいろいろなトレーニング方法を知っているトレーナー選びが重要になってくると思います。また、そのブヒに合わないトレーニングをずっと続けている飼い主さんもいますし、逆にもうちょっと続けたいことができるようになっていたのに、という場合もあります。迷ったときは信頼のおけるトレーナーにぜひ相談してみてください！

愛ブヒの素晴らしい能力を100%発揮させてあげましょう！



ご協力いただいたのは

川野 梯子さん

アメリカ、カリフォルニア州にてドッグトレーナーのライセンスを取得。フランス人とアメリカ人訓練士のもとで、軍用犬、警察犬の服従訓練や、問題犬の矯正を学ぶ。現在、カワノe-ドッグの専属ドッグトレーナー。

★株式会社カワノe-ドッグ

☎03-3630-6725

Fax 020-4623-6423

<http://www.k-e-dog.com/>

犬の権利が認められるには、飼い主が犬に対して義務を果たす。それが「しつけ」だという「しつけ先進国」フランス流の考え方。カフェでくつろぐ主と足元でゆったりと過ごす愛犬との心地よい距離感。そんな犬文化ごと輸入したドッグ・トレーニング・スクールです。ブヒのしつけ経験も豊富！